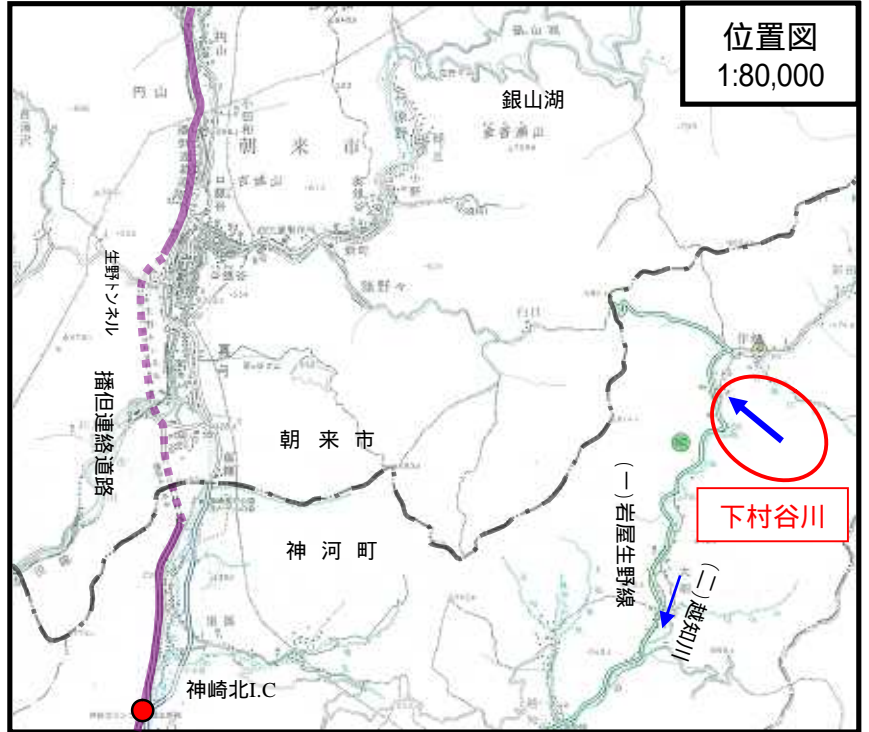


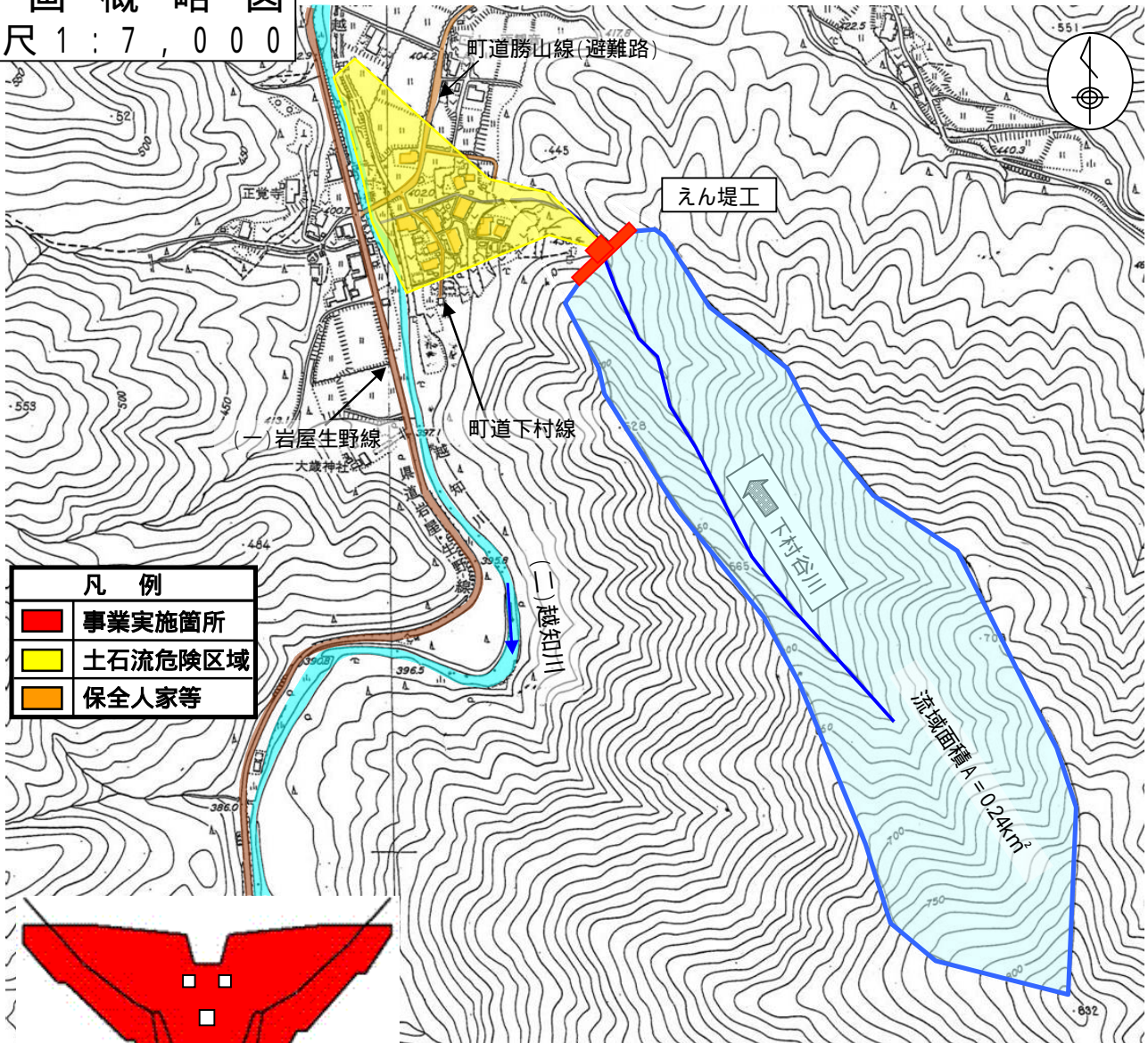
投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.6億円
		通常砂防事業 しもむらたに 下村谷川	神河町 さくはた 作畑	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
神河町作畑				H22	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 12.0m, L = 90.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(二)市川水系越知川に流入する土石流危険溪流 ・針葉樹林に覆われた流域は、風倒木が多数発生しており、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く(1.2m程度)堆積しており、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約3ha(長さ200m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・人家10戸、(二)越知川、町道(避難路:約230m)				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成19年度には土砂災害警戒区域を指定済みであり、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
〔事業執行環境〕	・工事用道路として町道からの取り付きが容易であり、周辺住民の理解も得られていることから、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・県道からの視認性を考慮し化粧型枠を採用するとともに、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・災害時における避難路の確保が重要であることから、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

しもむらたにがわ
下村谷川
[神河町]



計画概略図
縮尺 1 : 7 , 0 0 0



凡例	
	事業実施箇所
	土石流危険区域
	保全人家等



えん堤工 H = 12.0m、L = 90m